



思いをつなぐ いのちをつなぐ

t s u n a g u

つなぐ

3.11 を忘れない

今、わたしたちにできること



Vol. 14

2016年10月31日発行

つなげよう脱原発の輪

上越の会 会報

発行責任者：植木史将

# なくそテ原発 2016 柏崎大集会

9月3日、柏崎アルフォーレにて開催 1300人が参加（上越地域からは160人）



- ◎ 演奏：黒崎太鼓（写真左上） ○ 開会挨拶：植木史将 実行委員長 ○ あいさつ ●首都圏反原発連合 ミサオ・レッドウルフさん（写真右上） ●原発をなくす全国連絡会 柿沼真利さん ○ 各団体の取り組み 紹介（一言紹介） ●原発を再稼働させない柏崎刈羽の会 ●さようなら柏崎刈羽原発プロジェクト ●こどもたちの未来のために行動する会 ●原発ゼロ・自然エネルギーへの転換を求める長野県連絡会
- 講演 「原発立地県からの発信 脱原発8つの理由」脱原発をめざす首長会議・世話人 三上 元 氏（静岡県 湖西市長）（次ページにて講演内容の詳細記載）
- 音楽演奏：制服向上委員会（写真左下） ○ プラカード上げ（写真中央） ○ 集会宣言採択
- ◎ 閉会后、パレード

# 「原発立地県からの発信 脱原発、8つの理由」

なくそテ原発 2016 柏崎大集会 講演（2016.9.3 柏崎アルフォーレ）



浜岡原発から 60 km 圏の浜名湖西岸・湖西市長 三上元  
(脱原発をめざす首長会議世話人)

## 1 人間にはミスがあります。 想定ミスも、操作ミスも。

ミスゼロのことを、神業といいます。私たちは神様ではありません。  
福島原発は想定のごさという大きなミスを犯してしまいました。

## 2 テロや飛行機の墜落という想定を全くしていません。

2001 年の 9.11 米国テロを見て、私は「原発をやめよう」の発言を開始しました。

## 3 戦争になれば、標的になります。

今や戦争はミサイル時代。その標的とされる原発をなくす事が国防の第一です。

## 4 日本は地震大国、津波大国。

日本は活断層だらけの国。神戸のような直下型地震が発生すれば、日本全土が汚染されます。

## 5 原発は安価ではありません。

事故の損害賠償保険に加入することを義務づければそのコストの高さに驚きます。そして、10 万年の保管コストです。

## 6 使用済み核燃料の処分先が日本にはありません。

10 万年先まで保管する場所を決めた国はフィンランドだけ。アメリカやフランス、ドイツも未だ決められないのです。地震大国日本にはそんな場所はありません。

## 7 原発こそ環境破壊の元凶です。

原発で生まれた熱エネルギーは 1/3 しか電気に変換できません。残りの 2/3 は、海温を上昇させ地球温暖化の主要因なのです。1 秒に 70 トンの海水の温度を 7℃ 上げて放出します。青森県・岩木川級の水量です。

## 8 原発作業労働者の管理はあまりにも杜撰です。

「テロリストが入ってくるかもしれない」という慎重さは無く、個人別の被爆歴管理も不十分。作業は下請けの下請けへと出して賃金はピンハネの構造です。

※当会ホームページにて、集会当日に配布された資料「脱原発8つの理由」を見ることができます。そこには詳細や「ではどうすればいいのか!？」、「どう計算しても原発は高い『原発のコスト計算』」なども掲載されています。

## 郡山市から新潟市へ母子避難

磯貝潤子

東日本大震災から五年半、そして原発事故からも五年半、当事者の私でさえある意味忘れてしまったかのような感覚になることがあります。いや、忘れてしまいたいといったほうが正しいのかな。土地を離れた悲しさも仲間を失った寂しさも、普通に暮らし過ごせることで傷も段々と癒されてきました。

前を向いて歩いていけなくちゃと、私の母子避難は「娘と自分」の方向性にしか目が向かなかった。

郡山に残った主人の生活や気持ち、居なくなってしまった娘たちの面影を辿り毎日を過ごしている姿にほんの少しでも気持ちを向けてあげられていれば、と。

私が想像していた以上に、避難元に残る主人は衰退している。でもそれをあえて彼は言わなかったし見せようとはしなかった。

それは私にとってもお互いにお互いを気遣ってのことではあったのだけど、この五年半の間に膨らんだ「思いやりという名の偽った生活」が生んだ言い出せぬままの彼の借金と返済、そして来年度からまた支払いが困難になるであろうマイホームのローン、娘たちの進学、一番は家族の戻ってこない場所に支払だけを続けることのずっと払拭されない彼の疑問。心は助けを求めているのだと思います。

マイホームは売ってしまえばいい、貸してしまえばと言われることも少なくはない。確かにそうできれば新潟県民として気持ちも新たにスタートできるのかもしれない。だけど年二回僅かな時間訪れる避難元の我が家は、子供たちの小さかった頃の思い出と、家族で過ごした楽しかった空気がわずかに残る切ない場所。決意が鈍るのです。

そして何の解決にも至らないまま来年度から住宅保証は打ち切られ、ここ新潟に住む私と避難元の主人との間にも離散の危機が迫っています。

原発事故は土地を汚し体を蝕み、そしてあれほど愛おしかった家族の形さえも奪っていくのです。何にも負けないと思っていた家族の形さえ…

離れたくて離れるのではない、土地も家族もそして夫婦間でさえも。でもわたしたちは生きていくために離れる。まだ完全なる答えは出ないけれど、これが原発事故から五年半のわたしの現実です。

## 内部被曝から守るために（第9回）

### 罪のない子供たちに深刻な被害が

9月末にBS5chでチェルノブイリ原発事故から30年のドキュメンタリー番組が放映されました。30年間の甲状腺ガンの発症例が6049人。周辺の線量の高い地区の子供の9割が重い病気を抱えて生きています。

福島でも最近の調査で135人の甲状腺ガンの手術がなされたとあります。（ふくしま共同診療所建設委員会の椎名さんより）これは通常の200倍の数だそうです。

ロシアと日本で深刻な被害をこうむったのは、主に何も罪の無い子供達です。こんな悲しいことはもう絶対起こしてはならないのです。

広島や長崎で原爆に遭遇しても天寿を全うされた方々のように、規則正しい生活の実行と、できるだけ無農薬の玄米や野菜を中心に、味噌や梅干や海草などを取り入れた和食で、体に入ってくる放射能を解毒していくことが大切と考えます。（K・O）



## 私の思い



### 「娘のふるさと」

谷内美名子（上越市吉川区）

東京から上越の美しい山間部へ移住して3年。移住してすぐに授かった娘にとっては、ここがふるさと。移住するにあたり最後まで悩んだのは柏崎刈羽原発から30キロ圏内だということだった。

娘が生まれてからは、何かあったときにすぐ避難できるよう、車のガソリンが半分以下になる前に給油し、常に満タンに近い状態にする癖がついた。

実際に住んでみると原発が近いというだけで大きなストレスを感じているし、やっぱりとっても怖い。

各地の原発が再稼働を始めた今、私たち大人が原発の行方を決める当事者だということを忘れてはならないと改めて思う。そして、考えることを押し付けず、小さな声でもあげ続けることでこの美しい娘のふるさとを守ることができると信じている。

2歳の娘の母。パタンナー（洋服の型紙の設計）をしながら自家用の米作りと野菜作り。娘は、なくそで原発柏崎大集會に参加してから「原発反対」という言葉を覚える。

## 《 活動報告 》

### ◆6.19(日) 出張べんきょう会（吉川区）

【日時】6月19日（日）14:00～16:00

【会場】吉川コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

【内容】原子力災害に備えた上越市避難計画について。避難計画についてのTV録画を視聴後、意見交換。

◎事前に会場周辺で配布したチラシを見て初めて参加された方も何人かおられました。「まずは屋内退避」の危険性や、避難所への移動中の渋滞、原発から近い場所に設定された避難所の危険性、「30キロ圏外は安全」の安全神話などについて話し合われました。

### ◆8.28(日) くびき野市民活動フェスタ 2016

【日時】8月28日（日）10:00～16:00

【会場】上越妙高駅・西口駅前広場

【内容】くびき野地域の市民活動団体が体験や展示のイベントを行いました。

当会は「不用品交換会」「原発シール投票」「原発からあなたのお家までの距離教えます」

◎天気にも恵まれ、大勢の参加者が来場。「柏崎刈羽原発で事故発生。あなたは どうする？」のシール投票では、「指示に従い屋内退避」16票、「逃げる」91票。

## ♥つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表：植木史将（090-4962-9633）



始めました。

フェイスブックはじめました。イベント情報・原発に関するホットな情報を投稿します。「いいね」よろしくおねがいします(^\_^)v

## カンパ募集中です

当会は会の趣旨にご賛同いただける皆様からのカンパで運営されています。ご協力よろしくお願ひします。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・仔刈（一

八）・普通預金・1316947

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

## ◆◇編集後記◇◇

▼10月16日私たちの歴史的勝利の日!(^~)! 米山さん勝利にわきあがる選挙事務所、隣に居たHさんがぼつり「森さんかわいそうだね。どうなっちゃうんだろう」。誰よりも脱原発のために一生懸命にやってきたHさん。そういう気持ち、絶対忘れたらいけないよね。ありがとう。(N.T)